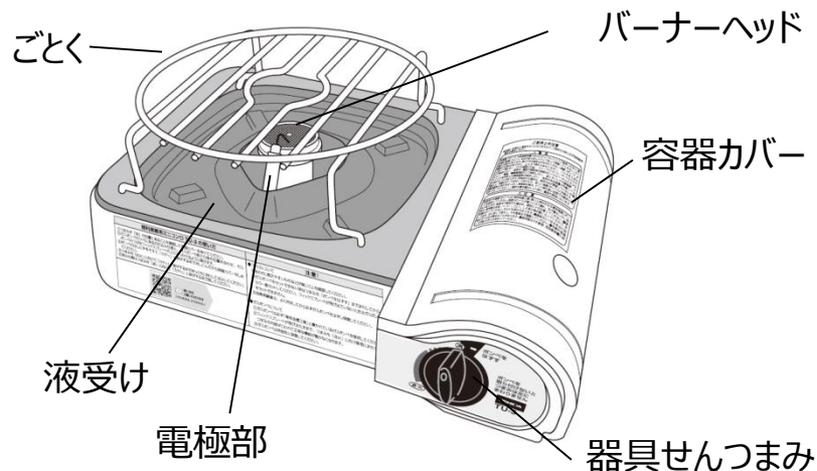


# 実験用コンロの保管方法

## 各部の名称



## 保管方法

- ボンベは取り外し、本体と分けて保管してください。
- 取り外したボンベは、必ずキャップをはめ室温10℃~40℃の場所、鍵付きの保管庫や専用のケースに入れて保管してください。



## 点検とお手入れ \*コンロが充分冷えてから行ってください。

### 【バーナーヘッド】

- バーナーが穴づまりをおこすと、不完全燃焼をおこし危険です。穴が詰まって炎が不ぞろいになったときや汚れがひどい時は、金属ブラシなどで掃除してください。
- 電極部の汚れは、点火不良の原因になります。乾いた布でふきとってください。（この時、電極部の位置を動かさないように注意してください。位置がずれると点火不良の原因となります。）

### 【ごとく / 液受け】

- ごとくや液受けを薬品等で汚れたままにしておくと、腐食を早めます。ご使用のつど、乾いた布でふいてください。汚れがひどい時は、中性洗剤を溶かした水のなかで洗ったあと、水気をきり、乾いた布でふきとってください。

**本体及び各部品は経年劣化します。  
10年を目安に買い替えをお勧めします。**



理科教育を支援する

公益社団法人 **日本理科教育振興協会**

TEL. 03-3294-0715 ホームページ <http://www.japse.or.jp>